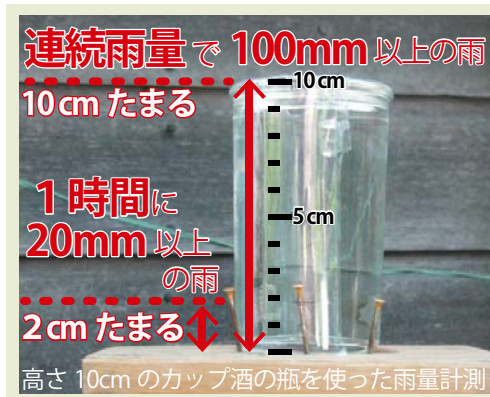


！ 雨と土砂災害の関係を知しましょう

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。
自宅雨量を計測する習慣をつけましょう。
なお、カップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です。

■誰でも簡単に雨量計測できる簡易雨量計測の方法

カップ酒のビンなどの寸胴の容器にメモリをつけて、雨が降り始めたら、地面で跳ねた雨が入らない高さで平らな場所に容器を設置。こまめにたまった水の深さを確認しましょう。



※1時間に20mmの雨のイメージ
車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

！ 行政からの情報に注意しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これらの情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

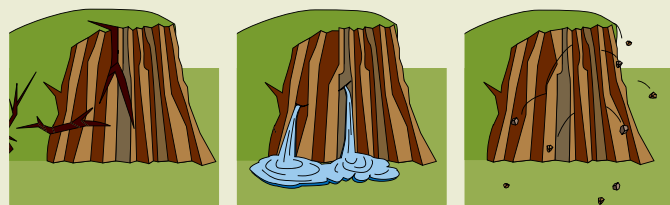
土砂災害警戒情報・・・地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難勧告・避難指示・・・災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発令される情報

！ 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

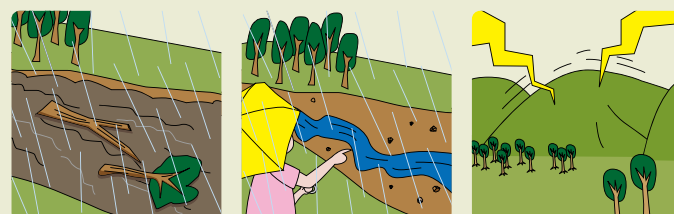
土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を見たら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には・・・



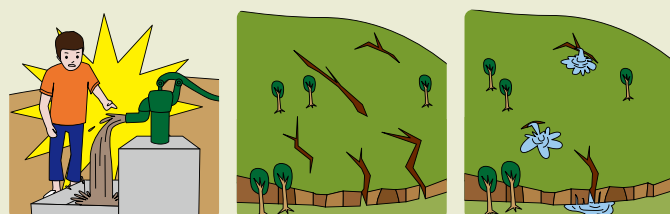
がけに割れ目が見える
がけから水が湧き出ている
がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土石流の発生前には・・・



急に川の流が濁り、流木が混ざっている
雨が降り続けているのに、川の水が下がる
山鳴りがする

地すべりの発生前には・・・



沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れができる
斜面から水が噴き出す

この他にも・・・

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！ 災害情報サービスをご活用ください

防災釜石広報 ☎ 0800-8003199（通話料無料） ※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHSから利用可能です。

防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

砂子畑共正会 自主避難計画

砂子畑共正会は、住民全員が雨の量や周辺の様子に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

① 日頃からやっておくこと

- 裏面の防災マップを参考に、**降雨時に確認される予兆現象**や、自宅周辺の**避難場所（比較的安全と思われる場所や建物）**、**避難経路**、**住民間の連絡方法**を確認しておきましょう。
- カップ酒の瓶などを用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。
（※1時間に20mm、連続雨量で100mmの雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
- 避難開始の目安となる現象**が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。



③ 自主避難基準に達したら、町内会役員等に報告して、すぐに避難対応！



自主避難基準

以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **避難開始の目安となる現象**が1つでも確認された場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- 地域内のがけや沢で土砂災害の予兆現象（裏面に示す現象）が確認された場合
- 釜石市役所が避難勧告や避難指示を発令した場合

自主避難基準が確認されたときの避難対応

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。
土砂災害警戒区域の外へ出ることを心がけましょう。

➡ **比較的安全と思われる最寄りの建物・場所**へ避難

なお、すでに道路が冠水しているなど、**移動に危険が伴う場合は、**

➡ **自宅を含めて、がけや沢から少しでも離れた建物の2階以上**へ避難

※この計画は平成27年10～12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、砂子畑共正会として検討したものです。

砂子烟共正会

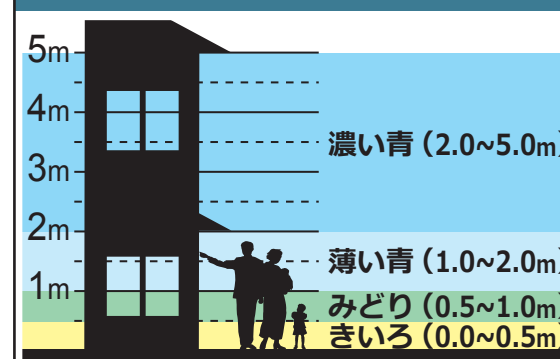
住民懇談会で把握した情報

比較的安全と思われる場所や建物

土砂災害の危険性 (岩手県砂防基礎調査結果および 土砂災害対策検討図に基づく)

但し破線の範囲は現地未調査

洪水ハザードマップ (鵜住居川浸水想定区域図に基づく)



比較的安全と思われる場所

大雨が降ると土砂が道路に出てくる(歩道に土砂が流れる)

鵜住居川が決壊 広範囲が浸水した <明治時代>

土石流が発生した <昭和56年台風15号>

と畜場が流された <昭和56年台風15号>

【鵜住居川との合流点】 鵜住居川へ 水が流れているか 大雨時に注意している

堤防ギリギリまで 鵜住居川の水位が上昇した <昭和56年台風15号>

道々橋【鵜住居川】 水位が橋桁の下から 1m50cm下に達した場合

えん堤 2基あり

用水路

鵜住居川

砂子畑集会所 さんあいセンター

桂明神

丹内神社

大沢川の橋に 流木が詰まると 下流側が不安

土を採取した場所のため 崩れやすい地形となっている

えん堤 2基あり

比較的安全と思われる場所

鵜住居川が決壊・ 広範囲が床上浸水した ため山へ避難した・ 長持橋の桁が落ちた <昭和56年台風15号>

・砂子畑橋(木橋)・ 道々橋(木橋) が全て流された <昭和46年~47年頃>

大雨時にえん堤に 物が詰まることある

大雨時に桂明神の 裏手が崩れた (普段から崩れやすい地形)

沢の水があふれて 浸水した

流木が詰まり 沢があふれた <平成26年>

【鵜住居川との合流点】 鵜住居川へ 水が流れているか 大雨時に注意している

大雨時に沢の水で 冠水しやすい

藤原土木付近 大沢川の石垣の上端に 水位が到達したら 大雨のたびに大沢川の水位が 宅地の高さに迫る (ここが一番低い)

0 100 250 500 m

1:7,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 27 情使、第 992 号)